

製品名: B-Myb (リン酸化 Ser577) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04329**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	MYBL2
別名	MYBL2; BMYB; Myb-related protein B; B-Myb; Myb-like protein 2
遺伝子 ID	4605.0
SwissProt ID	P10244
免疫原	抗血清は、Ser577/581 のリン酸化部位周辺のヒト B-Myb 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 551-600

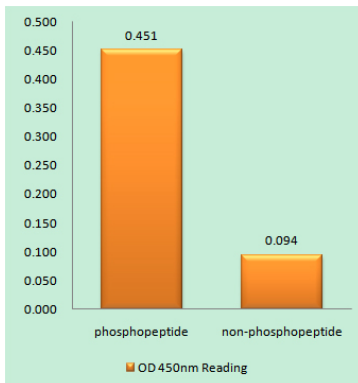
背景

転写因子遺伝子 MYB ファミリーに属するこの遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞周期の進行に関与する核タンパク質で

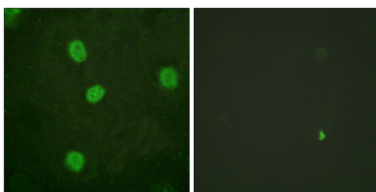
す。コードされるタンパク質は、細胞周期の S 期にサイクリン A/サイクリン依存性キナーゼ 2 によってリン酸化され、活性化因子活性と抑制因子活性の両方を持ちます。細胞分裂周期 2 遺伝子、サイクリン D1 遺伝子、インスリン様成長因子結合タンパク質 5 遺伝子を活性化することが示されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2013 年 7 月],機能: 細胞の生存、増殖、分化の制御に関する転写因子。CLU 遺伝子の発現を転写活性化します。、PTM: S 期にサイクリン A/CDK2 によってリン酸化されます。 Thr-520 のリン酸化は転写活性に関与していると考えられる。、類似性: 3 つの HTH myb 型 DNA 結合ドメインを含む。、サブユニット: DREAM 複合体 (LINC 複合体とも呼ばれる) の構成要素であり、少なくとも E2F4、E2F5、LIN9、LIN37、LIN52、LIN54、MYBL1、MYBL2、RBL1、RBL2、RBBP4、TFDP1、TFDP2 から構成される。この複合体は静止細胞に存在し、細胞周期依存性遺伝子の発現を抑制する。S 期には、LIN9、LIN37、LIN52、LIN54 が MYBL22 に結合するサブ複合体を形成すると解離する。、

研究分野

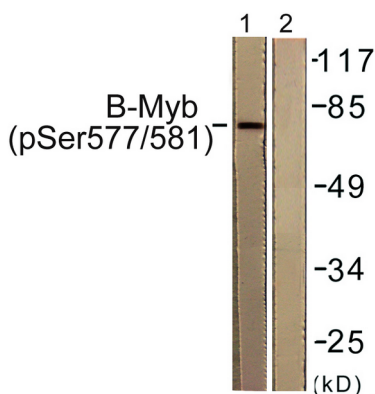
画像データ



B-Myb (リン酸化 Ser577/581) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



B-Myb (リン酸化 Ser577/581) 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



K562 細胞ライセートの B-Myb (リン酸化 Ser577/581) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。